

# 今回の事例～ お薬に関すること

つくば薬剤師会  
あおやま薬局  
入村直也



## セパミットR顆粒2%

### 効能・効果

- 本態性高血圧症
- 狭心症



血管平滑筋に直接作用して細胞内へのCaイオンの流入を抑制することで末梢血管を拡張し、血圧を下げます。

また、冠血管を拡張して心筋への血流をよくする作用により、狭心症の症状を改善します。

## セパミットRでの注意事項

- ・高齢者では低用量から投与を開始するなど患者の状態を観察しながら慎重に投与する。
- ・過度の降圧により、ショック症状や一過性の意識障害、脳梗塞が起こるおそれがある。
- ・グレープフルーツジュースにより薬の作用が強くあらわれることがありますので、一緒に飲むことは避ける。

## アジルバ錠 20mg

効能又は効果

- 高血圧症



血管を収縮するアンギオテンシンⅡという生理活性物質の作用を抑えて、末梢の血管抵抗を低下させて、降圧します。

## アジルバでの注意事項

高齢者では低用量から投与を開始するなど患者の状態を観察しながら慎重に投与する。

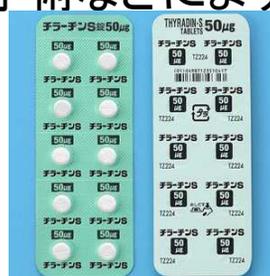
過度の降圧により、ショック症状や一過性の意識障害、脳梗塞が起こるおそれがある。

高カリウム血症、腎障害の方は、血清カリウム値の変化に注意する。

## チラージンS錠50 $\mu$ g

- 効能又は効果
- 粘液水腫，クレチン病，甲状腺機能低下症（原発性及び下垂体性），甲状腺腫

甲状腺ホルモン剤で、甲状腺の障害や手術などにより不足している甲状腺ホルモンを補います。



## チラーヂンでの注意事項

- 重篤な心・血管系の障害（狭心症，陳旧性心筋梗塞，動脈硬化症，高血圧症等）のある患者の方は、基礎代謝の亢進による心負荷により，病態が悪化するおそれがあるので，投与する場合には少量から開始し，通常より長期間をかけて増量し維持量は最小必要量とする。

## ピレチア細粒10%

### 効能又は効果

- ○振戦麻痺、パーキンソニズム
- ○麻酔前投薬、人工（薬物）冬眠
- ○感冒等上気道炎に伴うくしゃみ・鼻汁・咳嗽
- ○アレルギー性鼻炎、枯草熱、血管運動性浮腫
- ○皮膚疾患に伴うそう痒（湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症、薬疹、中毒疹）、蕁麻疹
- ○動揺病

アレルギー症状やパーキンソン病の症状をおさえ、麻酔強化・睡眠増強・制吐作用などを示します



## ピレチアでの注意事項

- ☛ 脱水・栄養不良状態等を伴う身体的疲弊のある患者は悪性症候群が起こりやすい。
- ☛ 眠気、めまい、口渇、便秘などの副作用が起きやすい。

## 悪性症候群①

主に抗精神病薬により引き起こされる副作用で、高熱・発汗、意識のくもり、  
錐体外路症状（手足の震えや身体のこわばり、言葉の話しづらさやよだれ、飲み込みにくさなど）、  
自律神経症状（頻脈、血圧上昇など）、  
横紋筋融解症（筋肉痛、尿赤褐色など）の症状がみられます

## 悪性症候群②

- ❖ 悪性症候群は、多くは急激な症状の変化を示します。抗精神病薬などを服用後、急な高熱や発汗、神経系の症状などが認められる場合は、悪性症候群発症の可能性を考慮する必要があります。
- ❖ 悪性症候群は、放置すると重篤な転帰をたどることもありますので、迅速な対応が必要です。

## 悪性症候群 早期発見・早期対応のポイント

- ❖ 主に抗精神病薬を服用していて(特に増量、変更、中止時)、「他に原因がなく 37.5℃以上の高熱がでる」、「汗をかく」、「ぼやっとする」、「手足の震え」、「身体のこわばり」、「話しづらい」、「よだれが出る」、「飲み込みにくい」、「脈がはやくなる」、「呼吸数が増える」、「血圧が上がる」などが特に複数見られた場合には、ただちに医師・薬剤師に連絡してください。

## アーテン散1%

### 効能又は効果

- 向精神薬投与によるパーキンソニズム・ジスキネジア（遅発性を除く）・アカシジア
- 特発性パーキンソニズム及びその他のパーキンソニズム（脳炎後、動脈硬化性）

## アーテンでの注意事項

- 高齢者は特に、せん妄、不安等の精神症状及び抗コリン作用による、口渇、排尿困難、便秘等があらわれやすい。
- 脱水・栄養不良状態等を伴う身体的疲弊のある患者は悪性症候群が起こりやすい。



## 酸化マグネシウム(330)

効能又は効果

下記疾患における制酸作用と症状の改善



胃・十二指腸潰瘍、胃炎(急・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む)、上部消化管機能異常(神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む)便秘症

尿路シュウ酸カルシウム結石の発生予防

腸壁から水分を奪い腸管内容物を軟化する

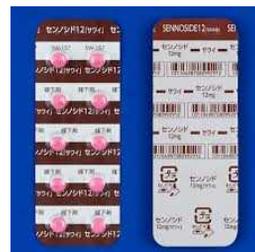
## 酸化マグネシウムでの注意事項

- 高マグネシウム血症があらわれることがある。特に、便秘症の患者では、腎機能が正常な場合や通常用量以下の投与であっても、重篤な転帰をたどる例が報告されているので、以下の点に留意すること。
- (1) 必要最小限の使用にとどめる。
- (2) 長期投与又は高齢者へ投与する場合には定期的に血清マグネシウム濃度を測定する。
- (3) 嘔吐、徐脈、筋力低下、傾眠等の症状があらわれた場合には、服用を中止し、直ちに受診する。

# センノシド

## 効能又は効果

- 便秘症



服用後8～10時間で効力を発揮する。就寝前の服用により翌朝効果がみられる。

## センノシドでの注意事項

- 連用による耐性の増大等のため効果が減弱し、薬剤に頼りがちになることがあるので長期連用を避けること。
- 電解質失調(特に低カリウム血症)のある患者には大量投与を避けること〔下痢が起こると電解質を喪失し、状態を悪化するおそれがある。〕
- 重症の硬結便ある患者、急性腹症が疑われる患者、痙攣性便秘の患者は、腹痛等の症状を増悪するおそれがある

## ラコールNF配合経腸用半固形剤

- 効能又は効果
- 一般に、手術後患者の栄養保持に用いることができるが、特に長期にわたり、経口的食事摂取が困難な場合の経管栄養補給に使用する。
- 1日1,200～2,000g(1,200～2,000kcal)を胃瘻より胃内に1日数回に分けて投与する。投与時間は100g当たり2～3分(300g当たり6～9分)とし、1回の最大投与量は600gとする。



## ラコールNFでの注意事項

- 投与初期には、特に観察を十分に行い、下痢などの副作用が認められた場合には、減量又は投与を中止するなど適切な処置を行うこと。
- ビタミン、電解質及び微量元素の不足を生じる可能性があるため、必要に応じて補給すること。類薬の長期投与中にセレン欠乏症(心機能の低下、爪白色変化、筋力低下等)があらわれたとの報告がある。

## 経腸栄養剤を使用している際の 下痢 その要因 対応

### ①投与速度が早い

⇒遅くする、可能であれば腸栄養ポンプを使用し20ml/時から開始

### ②経腸栄養剤の希釈

⇒希釈を避ける(細菌汚染リスク、水分過多で起こす)

### ③投与時の温度

⇒低温避け室温で投与(低温で保存されたもので、腸管運動が刺激され起こす)

## 経腸栄養剤を使用している際の 下痢 その要因 対応

### ④体に合っていない

乳糖不耐性、胆汁分泌異常などないか確認

### ⑤経腸栄養剤の、投与器具の汚染

⇒手洗いの徹底、 Disposable 器具の再利用避ける等

### ⑥他の原因で下痢が治まらない

⇒感染症など疑う(感染性腸炎の治療する、抗菌剤の使用などあるか確認)

⇒経腸栄養中止、末梢静脈栄養開始、1週間以上再開できなければ中心静脈栄養検討

## 服薬支援できます

日数バラバラ うまく飲めなかった薬、古くなっている、不要な薬などなど、余ったお薬を入れるブラウンバッグに入れて持参



色々な病院のクスリ、飲み忘れのものまとめて分包、日付入れる、ホチキス、テープ等で止めるなどの対応行い、



バラバラな薬、たくさんある薬、確認し、正しく飲めるようにし、飲みやすくすること。

## お薬で困ったときにはご相談ください



持参



整理



## 外来服薬支援料①

- ☛ 自己による服薬管理が困難な外来の患者又はその家族等の求めに応じ、患者若しくはその家族等又は保険医療機関の求めに応じて、当該患者が服薬中の薬剤について、当該薬剤を処方した保険医に当該薬剤の治療上の必要性及び服薬管理に係る支援の必要性を確認した上で、患者の服薬管理を支援した場合に月1回に限り算定する。
- ☛ 患者若しくはその家族等又は保険医療機関の求めに応じて、患者又はその家族等が保険薬局に持参した服用薬の整理等の服薬管理を行い、その結果を保険医療機関に情報提供した場合についても、所定点数を算定できる。
- ☛ 在宅患者訪問薬剤管理指導料を算定している患者については、算定しない

## 外来服薬支援料②

- ☛ あらかじめ、患者又はその家族等に対して、保険薬局へ服用中の薬剤等を持参する動機付けのために薬剤等を入れる袋等を提供し、患者等が薬剤等を持参することで服薬管理を行う取組(いわゆるブラウンバッグ運動)を周知しておく
- ☛ 外来服薬支援料・・・185点

## FAQ①

- ❖ どの薬局でも、いつでもOK？持参しないとダメですか？薬剤師に訪問してもらうことはできますか？時間はどのくらいかかりますか？

⇒どの薬局でも良いですが、基本いつも行っている薬局、かかりつけがあればかかりつけ薬局です。訪問も可能ですがこの状態が続くようであれば、在宅療養、居宅療養管理指導という形でしっかり対応できるようにした方が良いと思います。伺うことも可能な時もあります。まずご相談ください。医師など確認の手間もあるのでその日中にできないこともあるかもしれません。

## FAQ②

- ❖ 無料？（訪問は有料？）

⇒外来服薬支援料であれば185点、かかりつけ薬剤師であればその金額、場合により一包化有料、距離により有料となるかもしれません。まず相談してください。

## FAQ③

☛ ブラウンバッグは薬局でもらえますか？専用のブラウンバッグがないときは家にある袋（紙袋、ナイロンのレジ袋やエコバッグ）に入れていってもいいのでしょうか？

⇒基本は薬局が、ブラウンバッグ運動の説明をしておく必要があります。ブラウンバッグ等を提供しておくこと、ブラウンバッグ等を提供していない患者の持参薬を服用薬の整理等服薬管理を行った場合の算定は不可となるからです。また、ブラウンバッグは無料で提供します。ただ持っていない薬局もあるので説明を受けたということで、ショッピングバッグなどに入れてもいいので持参ください。

## FAQ④

☛ サプリメントもOKですか？薬なしで複数のサプリメントだけでもOKですか？

⇒今は医療用医薬品だけでなくサプリメントも含めて薬学管理対応するようになっていきます。飲み合わせの事や、本当に必要なのか確認してその薬学管理を行います。特にサプリメントだけではお金は発生しませんが、以上のことからかかりつけ薬局での管理基本望ましいです。